

かんてつ 貫徹通信

発行責任者：おおや 徹

発行日 2014年11月【第20号】

発行者 大矢 徹

連絡先 0466(23)5711

<http://www.ohya-toru.com/>

[mail:ohya.toru@gmail.com](mailto:ohya.toru@gmail.com)

9月定例議会報告



広報広聴委員会にて

9月1日から10月9日まで、9月定例議会が開催され、次の事項等について審議しました。

- ・ 六会市民センター、六会出張所改築等建築工事請負契約の締結
- ・ 藤沢市特定教育、保育施設及び特定地域保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について
- ・ 藤沢市自転車等駐車場条例の一部改正について
- ・ 藤沢市西部学校給食合同調理場設置条例の廃止について
- ・ 平成25年度決算の認定

私は、市側提出議案について、決算認定も含めて全て賛成をしました。

1. 新庁舎建設について

本市の新庁舎建設については、平成24年度に策定された「基本構想」時に120億円とした建設費が、昨年度策定された「基本設計」時において、地下階の追加や資材費の高騰などの影響から188億円に大きく膨れ上がったことから、これまで様々な意見や指摘がされてきました。こうした状況を受けて、9/3に実施した「藤沢都心部再生・公共施設再整備特別委員会」では、建設費も含めた「基本計画の見直し案」において、地上11階→10階（延べ床面積△2,375㎡で35,225㎡）へ階層を減らすとともに、建具・各種設備等を見直すことで建設費の圧縮を図ったものの、物価上昇の影響により、最終的には187億円となることが示されました。

私は、今回の変更によって、隣接する現新館に生み出される空きスペースが1,000㎡となってしまい、今後必要となる機能等が確保できなくなる危険性があることから、今回の階層の減については疑問を感じています。

贅沢な仕様等にしないことは当然ですが、初期コストが高くてもトータルコストが安くなるよう工夫し、50年に一度という建て替えという機会に、長期的な庁舎活用を考えていくべきと考えます。

2. 生活困窮者自立促進支援モデル事業を実施

生活困窮者に対する早期支援を行い、自立促進を図るための第2のセーフティネットの充実・強化に向けて、平成25年12月に生活困窮者自立支援法が制定されました。これに伴い、藤沢市では、自立相談支援窓口を市役所新館4階の生活援護課に隣接する場所に設置して、生活困窮者自立促進支援モデル事業を実施することとしました。実施時期は、平成26年11月～27年3月で、具体的な事業は次のとおりです。

(1) 自立相談支援事業

生活困窮者の支援に関する総合調整を行い、個々の状況に応じた自立支援計画を策定し、適切なサービスや関係機関につなぐなど、包括的な支援を実施する。

(2) 就労準備支援事業

直ちに一般就労することが困難な生活困窮者が、就労に必要な基礎能力を形成できるよう、日常生活自立、社

会生活自立段階から支援を実施する。

(3) 家計相談支援事業

生活困窮者の家計の再建に向け、家計に関する相談、家計管理に関する指導、貸付のあっせん等の支援を行う。

(4) 学習支援事業

貧困の連鎖を防止する観点から、生活困窮家庭の子どもへの学習指導、子どもの居場所づくり、学習の重要性についての保護者の理解促進等の支援を行う。

3. 学校給食費の公会計化について

学校給食費について、現在、小学校・特別支援学校では、口座振替または現金で集金したものを集計・管理して、食材業者に直接支払う「私会計」方式となっていますが、以下のような問題がありました。

【問題点】

- ◎法的に管理者が明確でないこと
- ◎教職員の負担（集金・集計・督促・食材費の支払い）
- ◎現金の安全管理
- ◎未納金による食材業者への支払い遅延

こうしたことから、透明性・公平性の向上を目的として、学校給食費を市の予算に位置付け、予算、決算、監査等、市の会計ルールに基づいた「公会計」に見直すものです。今後は、条例化が必要となりますので、パブリックコメントを実施し、来年4月からの開始をめざします。

4. 事務事業評価を昨年度に引き続き試行

昨年度、初めて事務事業評価を試行しましたが、今年度も引き続き6事業を選択し評価を行いました。結果は次のとおりです。

- ◎防災施設等整備事業費→全会一致で拡充すべき
- ◎成年後見制度等推進事業費→全会一致で拡充すべき
- ◎認定保育施設等保育料助成費→全会一致で改善し継続すべき
- ◎子ども・若者育成支援事業費→全会一致で拡充すべき
- ◎がん検診事業費→全会一致で改善し継続すべき
- ◎誘客宣伝事業費→全会一致で改善し継続すべき

5. バイオガス化施設の導入を見送り

バイオガス化施設について、これまで試行収集やアンケート調査を実施し、その導入について検討してきました。

資源化についてはバイオガス化施設に優位性が見られたものの、

- 温室効果ガスの削減、発電効率、経費の面では、焼却施設に優位性があること
 - 市民の分別協力率が高かったことから、予定していた80トン規模のバイオガス化施設を140トン規模に拡大する必要が生じ、新たな敷地用地の確保が必要になること
 - 140トン施設は、全国的に稼働実績がなくリスクがあること
- などから、バイオガス化施設の導入は見送ることとしました。

私は、かねてより堆肥化センターの失敗を踏まえて、稼働例のない新施設の整備は行うべきではないと主張してきており、今回市は正しい結論を出したと考えます。

6. 湘洋中学校の津波対策について

湘洋中学校の津波対策について、基本構想が示されました。敷地内の津波浸水深、津波最大到達の高さを考慮すると既存校舎3階での避難対応が可能ですが、最大避難収容人数について、学校生徒、近隣住人、浜見保育園・よつば児童クラブ、国道利用者等を計算すると635名分が足りず、施設整備が必要となりました。

そこで、新たな避難施設として、東校舎棟前面の花壇部分に4階建て、高さ14.8mの備蓄倉庫、普通教室、多目的室、相談室の機能を持った施設を整備することとしました。概算事業費は、設計、地質調査、建設費で約8億円程度を見込み、平成29年2月の完成をめざします。

決算討論について

決算討論とは、決算審査をした平成25年度決算について、各党派が賛成・反対それぞれの立場で討論を行うもので、「かわせみクラブ」からは、佐藤清崇議員が賛成の立場で行いました。

成年後見制度について

一般的には馴染みの薄い制度であるが、制度を必要としている人は確実に増えている。成年後見制度への理解を促進し、浸透させていくことが社会の安心につながる。鈴木市長も大切にしている「人の和」を形作る大事な制度であることから、制度の広報、普及に一層の力を入れてほしい。特に今後は、市民後見人の育成について、積極的にとりくむことを要望する。

人権啓発について

人権啓発のため講演会の参加者数を増やすことは、費用対効果の面では大切だが、人権啓発事業の目的は参加者を増やすことだけでなく、市民の人権意識の向上を図ることである。市民の人権意識をしっかりと把握し、それに呼応した内容での啓発事業を実施するよう要望する。また、障害者差別解消法が2016年4月1日より施行される。合理的配慮についての学習、啓発などを障がい福祉課と連携し、積極的に行っていただきたい。

藤沢聖苑について

火葬場の待ちが長いという声を聞く。火葬炉の稼働状況は全体では72%だが、一番混んでいる時間帯である12時30分からは94.5%と、ほぼフル稼働の状態となっている。当面は現存の施設で対応していくとのことだが、人口や火葬件数の推移など総合的に捉え、喫緊の課題として検討するよう要望する。

災害対策について

災害対策には、自助・公助・共助という役割分担が大切とされる。公助は行政、共助は自主防災組織などの人々の助け合い、自助は文字通り自ら判断・行動し難を逃れることである。ここで大切なのは、人々が共助・自助に基づいて行動をとる際にも、前提となるのは行政から発信される、信頼できる情報である。確かな情報がなければ、市民は正しい判断、行動ができない。従って、市民に対して素早く信頼できる情報を発信することに特に力を入れてもらいたい。雨水対策についても、貯留管の整備などを公助として進めているが、共助・自助という観点から、宅内の貯留槽や止水板への助成など、支援制度の拡充を要望する。

手話通訳について

手話通訳について、派遣された手話通訳者の意見が、その後の派遣に活かされていないという声を聞く。手話通訳者の派遣については、状況を一番把握している手話通訳者がコーディネートすることが必要であることから、今後、毎日設置となる手話通訳者がその任を担うことを要望する。また、藤沢市の手話通訳の派遣登録人数は18人と大変少ない。今後登録者数を増やすためにも、手話通訳者の養成に力を入れてとりくんでいただきたい。

子どもへの支援について

要保護準要保護児童並びに生徒援助費については、学費以外の面での費用負担への支援の必要性と貧困対策から、市の奨学金の復活について前向きなとりくみを要望する。

おおや徹 ホームページのご案内

おおや徹ホームページは、開設以来、多くの方にご覧いただき、おかげさまで22万回を超えるアクセスをいただいております。

議会状況を迅速に報告しているほか、コラムでは趣味の食べ歩きを活かして、近隣の美味しいお店などを紹介しています。

藤沢市をもっと良く知って好きになってもらえたらと思いながら更新していますので、是非ご覧ください！

貫徹通信のバックナンバーも掲載しています。

アドレス：<http://www.ohya-toru.com/>

おおや徹

検索

クリック

